



# BESSだより

Bangladesh Education Support Society

6号

2012.9.13 発行  
Bangladesh  
教育支援の会 事務局

**H24年8月26日に盛大に総会・セミナーを行うことができました。**



ルーシーさんのお話。テーマ「イスラムと女性たち」について



Bangladesh旅行の報告をしていただく



「Bangladeshの屋下がり」セミナーの様子

ご挨拶

BESS代表 森崎 芳子

26日の総会・セミナーには50名という大勢の方に来ていただき充実した会を持つことができました。これもひとえに会員の皆様はじめご支援して下さいます皆様方のおかげと厚く感謝致します。現地の学校では日本から送りました支援金を元にビンドウ校長が大変努力してくれまして、子どもたちの文具の充実はもちろんのこと、2棟目の校舎建築もほぼ完成に近づき、母親達女性の刺繍や縫製訓練も大変進み、思った以上に成果を上げています。3年過ぎた今、もうあと2年で自立のめどをつけたいと思っています。砒素の混じった水しか出ないのでもっと深い井戸を掘る、校舎の整備、女性たちの訓練をし、あとは自分たちで自立の意識を強くして進めていってほしいと思っています。皆様どうかこれからもご理解ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

# ルーシーさんのお話

ベガム シャムシャド ルーシー

## 「イスラムと女性たち」

名古屋国際センター地球市民教室講師  
名古屋大学大学院国際開発研究科博士課程を修了  
(イスラムの女性の地位向上と一夫多妻、結婚、離婚について研究)

### 女性はなぜブルカをかぶり顔や髪を隠すの？

- ・ブルカをかぶるのは、男性に見られないようにするためである。
- ・女性は香水をつけて歩いたりメイクをしたりするのもいけないと言われている。
- ・ブルカは伝統的・個性的なもので、サウジアラビアで生まれたイスラムの宗教からきたものであり、バングラデシュではそんなには厳しく言われてはいない。イスラムのほんとうの教えでは、黒い布で体を全部かくしている。
- ・今バングラデシュでは、10%くらいの方がブルカを着ている。80%はサラワカカサリーを着ている。残りの10%は日本と同じような服装である。暑くても慣れているので大丈夫である。家の中では着ないが、外に出るときだけ着る。



### 結婚

- ・男性は21歳、女性は18歳くらいで結婚するといわれているが、女性は13歳くらいでも親が年を偽って18歳と言って結婚させる。結婚登録、出産登録という制度がきちんとしてないからである。
- ・結婚して家庭に入ると、イスラム教の人は、踊りも、歌も、音楽もタブーと言われ、女性に対する規制が厳しい。



- ・女性は、持参金が少ないと相手方の家族にいじめられ、暴力も受け、身の安全が保証されない。
- ・イスラムの男性の中では4人まで結婚してもよいと思っている人もいる。しかし、妻が多いということは、もめごとが多く、ほとんどうまくいっていない。腹違いの子どももでき、土地や財産の問題で裁判が永遠に続くこともある。
- ・最近バングラデシュでは教育率も上がり、一夫多妻がよくないと分かる男性も増えている。教育があれば意識も変わると思うのでバングラデシュでは今、教育がとても必要である。

### お祈り

- ・イスラム教では1日5回、体をきれいに洗ってお祈りをする。どこの場所にもお祈りをする。それは、5回お祈りをしないとイスラムの教えから見離された気がするからである。



・年に1回、1か月間ラマダンといって断食の時期がある。その時は、朝日から夕陽まで水も食べ物も一切口にしない。

・バングラデシュにはヒンズー教、イスラム教、仏教、キリスト教の4つの宗教があるが、それぞれの宗教がもめごとをおこしたり争うことはない。みんな仲良く暮らしている。それぞれのお祭りごとにも楽しくおこなっている。

## 食 事

・食事はスプーンがあっても右手をきれいにしておいて手で食べる習慣がある。世界の中では手で食べる人口がまだまだ多い。

・食事は、まず父親が食べ、それから子どもたちが食べ、残りを母親が食べる。母親は子どもたちに先に食べさせ、自分は栄養失調になることがある。病気になっても母親は病院できちんと診てもらえないため短命である。



## 女性の生き方

・女性は、「教育は必要ない。家事が出来ればよい。」と言われて育てられることが多い。小さい子どもは学校へ行かないで“メイド”としてよその家に行くことも多い。失敗をしたら、しかられたり、暴力を受け、時には殺されてしまうこともある。

・縫製工場で働く人もいるが、給料は大変安い。

・女性は、結婚をしたら、すぐに妊娠し、子育てをして人生を終える。イスラムの宗教では多くの子どもの産む。それは、イスラムを増やしたいという願いからである。

## 貧富の差

・豊かな家庭の人たちは、学校以外にも塾に行って英語やアラビア語を習ったりする。女性もだんだん大学を出て、銀行員や教師とかになって働いている。

・貧しい家庭では、男の子は働き手となりお金をもらってくる。その仕事は、米の運び屋や、麻薬の運び屋等である。また、びんや鉄くず等を拾って収入を得ている子どもも多い。子どもたちも麻薬を覚え、体もぼろぼろになり、決して安全ではない。

・道路に車を止めたりすれば、車が盗まれたりすぐに部品やタイヤなど盗まれてしまう。その見張り役や盗み役を子どもたちにやらせている。

・ダッカ市内で、売春行為をさせられている女の子も多い。人身売買の末、行方がわからなくなってしまいうこともある。

・日本では、りんごや肉・魚などすべての人が買うことができる値段だが、バングラデシュでは、豊かな家の人しか買えない。パソコンがある家もわずかである。

・国全体の治安が悪く、家の中にも殺害されることがある。

## 教 育

・親に教育があれば子どもを働かせなくてすむ。貧富の差は教育をしっかり受けていないことが原因でもある。教育を受けていれば、しっかりした意見が言え、言いなりになることはない。病気やエイズにかかってしまうのは知識がないためである。また、もめごとや土地問題についても、知識がないため、そこから抜け出すことができない。

### ※ お詫び

紙面上、ルーシーさんのお話を全て記載することができませんでした。

要約し、記載させていただきました。

活動報告（平成24年4月～平成24年8月）

実施月	活 動 内 容
4月	・今後の活動計画 ・曼陀羅寺の藤祭りでチャイのサービス、募金活動
5月	・メーデーに出店（明治村） ・江南市子どもフェスティバルに参加 チャイのサービス 募金活動
6月	・BESS3年度セミナーの計画・講師打ち合わせ
7月	・高齢者サロンでバングラデシュについてのワークショップ（宮田学共）
8月	・江南国際交流フェスティバルに参加 民芸品販売 ・BESS3年度総会・セミナー

入会していただいた方・更新して頂いた方（2012年4月～2012年9月）

32名

ご寄付、ご支援頂いた方（2012年4月～2012年9月）

4月 9名

5月 3名

6月 5名

7月 15名

8月 21名

## みなさんからのアンケート 「セミナーに参加して」

- ・教育の必要性を痛感しました。今後女性の地位向上のためにも支援を続けさせてください。応援します。
  - ・ルーシーさんの話がすごく上手で分かりやすく飽きさせません。勉強になりました。ブルカも初めて実物を見ることができました。
  - ・国を冷静に見てのルーシーさんの話がとても良かったです。
  - ・現地情報が聞けて良かったです。問題点がよくわかりました。
  - ・初めて参加しましたが Bangladesh の様子や事情がよくわかりました。@@
  - ・ Bangladesh のことは何も知らなかったのでルーシーさんのお話が興味深かったです。@@
  - ・イスラム教のことがよくわかりお話がとても良かったです。
  - ・豊かな日本では感じる事ができない日常生活水準がよくわかりました。
  - ・ Bangladesh は貧しいというイメージしかなくて知らないことだらけです。今後も Bangladesh に対する興味を深めていけたらと思います。
  - ・もっと聞きたいと思いました。彼女を囲んでのミーティングがしたいです。
  - ・ルーシーさんの話と BESS の活動を結び付けたプレゼンの仕方が可能であれば理解しやすいと思います。
  - ・ Bangladesh の子どもたちが自立していけるように支援していることがよくわかります。具体的な写真や話でよかったです。
  - ・いつも精力的な活動に感心しています。民芸品や小物販売も楽しみです。
  - ・ BESS の役員の皆様の活動に感銘を受けました。ささやかですが応援を続けます。
  - ・先生のお給料支援のタイトルで募金を呼びかけてはどうでしょうか？ 1口 1000 円で何口でも可。—— 分かりやすいです。
  - ・ Bangladesh にとって大きな力になっていくと思います
  - ・金持ちの市民がたくさんいるのにどうして貧しい人がたくさんいるのか。金持ちの人が助け合えばいいと思います。
  - ・地球は1つだと思いました。どの国も抱えている問題は同じ。日本も同じだと思います。
  - ・ BESS の支援で Bangladesh のこの地域がよくなっているのであまり協力はできませんが嬉しく思いました。
  - ・日本人としてお役にたてることがあるのではと考えさせられました。
  - ・会に賛同する人をもっと精力的に集めるための方法を考えてください。
  - ・5年をめどにということで具体的でよいと思います。
- いつもきめ細かな支援を尊敬しています。
- ・カレー・ちらし寿司などおいしかったです。ごちそうさまでした。@@@@
- @は、同じ考えの方の人数です。





2棟目がほぼ出来上がりました。



天井も竹の皮ではられ、広くなった校舎で文具を手にして勉強できる子ども達



刺繍の訓練を受けている女性たち



技術の向上は一進一退で、美しく見えますが地縫いが雑で不合格になった作品です。



高齢者サロンでのワークショップ

### 今後の予定

**10月7日(日)10:00~**  
**江南市民まつり チャイのサービス**  
 ( すいとぴあ江南 )

**10月8日(月) 10:00~3:00**  
**アジア保健研修所(AHI)オープンハウス**  
**民芸品販売 (日進市)**

**11月18日(日)10:00~**  
**江南市健康フェスティバル**  
**チャイのサービス**  
**休日診療所(江南市文化会館)**

会員の種類 (年会費)  
 正会員 6000円  
 准会員 3000円  
 1000円  
 (何口でも)  
 ボランティア会員

○郵便局のキャッシュカードをお持ちの方は**カードで振込料無料**  
 ○カードがない場合は窓口で振込料 140 円 (通帳・印鑑必要)  
 ○現金で振り込むと振込料は 525 円  
 郵便局 口座番号 [記号]12130 [番号]2001001  
 加入者名 BESS の会

※ 問合せ先 〒483-8044 愛知県江南市宮後町中町 79 森崎 芳子  
 ※ TEL・FAX 0587-54-4303 [メール m-hanzu@msd.biglobe.ne.jp](mailto:m-hanzu@msd.biglobe.ne.jp)  
 ※ [ホームページ http://www.7b.biglobe.ne.jp.bess/](http://www.7b.biglobe.ne.jp.bess/)